

# 長引く症状に 悩まされていませんか？

新型コロナワクチン接種後に後遺症の症状を訴える方が急増しています。  
ワクチン接種後からの長期的な体調不良を「ワクチン後遺症」と呼んでいます。  
病院で検査しても異常がない、ワクチン後遺症だと診断されない場合もあります。



接種後に体調不良が続く場合は、ワクチン後遺症の可能性を疑いましょう。

## 【新型コロナワクチン後遺症の代表的な症状】



## 皮膚疾患・带状疱疹

コロナワクチンが導入されてから、免疫低下により年齢を問わない带状疱疹やその他、皮膚疾患が増えています。

ワクチン後遺症は、軽度なものから重篤なものまで多岐に渡ります。

接種後、数ヶ月～1年以上経過してから発症する可能性もあります。

## ワクチン後遺症の情報を知りましょう！

「全国有志医師の会」サイトにワクチン後遺症に関する情報や治療に対応する病院の紹介をしています。

新型コロナワクチン後遺症の情報ページへ



## 新型コロナワクチン後遺症 患者の会

ワクチン後遺症患者が一丸となり、治療方法が確立されていない現状の改善や社会的補償・治療費の救済等を求めて活動をしている団体です。

新型コロナワクチン後遺症患者の会TOPページへ



行政のワクチン接種記録の保存期間は最低5年です

「予防接種健康被害救済制度」への申請に備えましょう

万が一、ご自身やご家族が発症した時の申請のために書類の保管が必要です。

● **ワクチン接種証明書の保管** ● **必要な書類の保管、体調の変化の記録**

※ワクチン接種証明書を紛失された方はお住まいの自治体で記録保管期間内に再発行の手続きができます。

体調不良の原因がワクチンと疑わしい場合は申請をしましょう



## 全国有志医師の会

Volunteer Medical Association

新型コロナワクチン接種事業の中止、ワクチン被害者の救済を目指す医師・医療従事者の非営利団体

医師428人・歯科医師174人・獣医師73人・その他の医療従事者809人 合計1484人(2023年5月1日現在)

全国有志医師の会は、新型コロナワクチン接種事業の即時中止を政府に強く求めて活動をしている有志医師及び医療従事者の団体です。海外の医師たちとも連携をとり、ワクチン後遺症の治療法の研究を重ね、後遺症患者の治療にあたりながら、被害者の救済を目指しています。

全国有志医師の会  
TOPページへ



大手メディアでは  
決して報道されない

# 新型コロナワクチン“薬害”を知ってください

新型コロナワクチン接種後に様々な健康被害や体調不良を訴える方や死亡する方が急増していますが、そのほとんどは国や公的機関による救済を受けられずに苦しい状況に置かれています。

## 2,000人を超える接種後の死亡報告

厚生労働省発表 コロナワクチン接種後の副反応疑い報告状況

ワクチン接種後の死亡者

2,059人

副反応の報告者

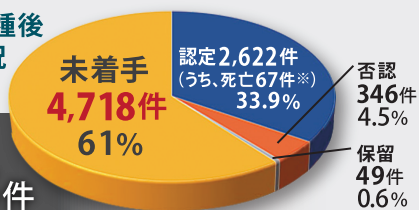
36,317人  
(重篤者 8,528人)

第93回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会(2023年4月28日)  
「医療機関からの副反応疑い報告状況について」より

## 7,700件を超える健康被害救済申請件数

新型コロナワクチン接種後  
健康被害救済審査状況

※2023年5月26日時点

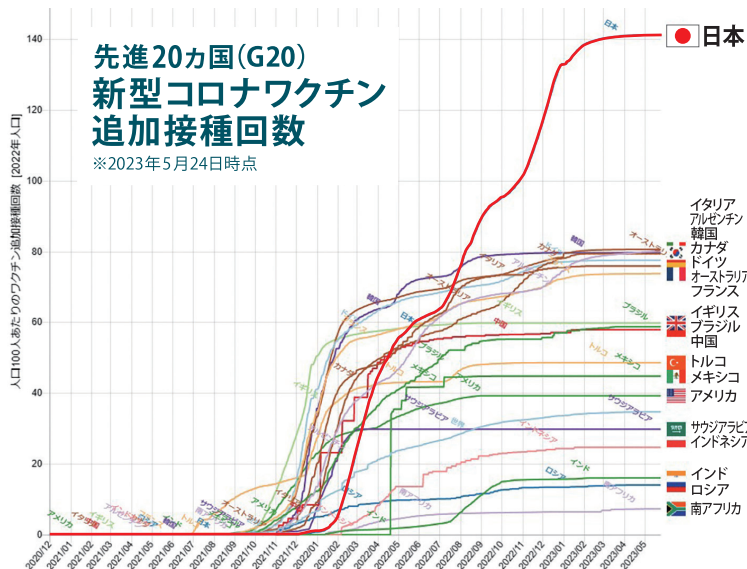


申請受理 7,735件

第159回 厚生労働省疾病・障害認定審査会 感染症・予防接種審査分科会(2023年5月26日)  
「新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査部会の審議結果」より作成  
※死因問わず、死亡一時金・葬祭料請求に対する認定件数  
(出典:堀内有加里臨床薬学博士作成「予防接種救済申請受理数と審査状況についてのグラフ」より)

現在、新型コロナワクチン接種による「健康被害救済制度」の申請受理数が既に**7,700件**を超えています。さらなる増加の一途をたどっています。厚生労働省では申請の着手が追いかず、救済を受けられずにいる方が**4,700人**以上もいます。

## 世界で日本だけが続けている追加接種



(出典:札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所ゲノム医科学部門)

日本は、世界に比べ圧倒的に多い接種回数となっています。海外の各国では、国民が危険性に気づき2~3回の接種で止めました。現在、日本だけがワクチンによる被害を無視したままで、4回、5回、6回と追加接種を続けています。

## NPO法人 駆け込み寺2020・ワクチン被害者遺族の会「繋ぐ会」

### 接種による死亡が疑われる被害者遺族の相談先

ワクチン被害者の救済を目的とした、代表の鶴川和久氏をはじめ、賛同議員、弁護士、医師有志で構成された団体です。被害者遺族だけでなく、ワクチンハラスメントで苦しむ方への無料の相談窓口も設けています。ワクチン被害者遺族の会「繋ぐ会」を結成して、ワクチン薬害の集団訴訟の準備が進められています。

NPO法人駆け込み寺2020  
TOPページへ



## 追加接種の度に危険性が増します

## 新型コロナワクチン(mRNAワクチン)の危険性

新型コロナワクチンは人類初のmRNA遺伝子製剤です。コロナウイルスのスパイクタンパクが人の細胞で作られ、その抗体が自己の免疫反応で生産されるという全く新しい技術の製剤です。このスパイクタンパクが人体に毒性を持つこと、ワクチンのmRNAには人工的な加工が施され、それが人体に様々な悪影響を及ぼす可能性があります。また、長期的な人体への影響は不明です。

国内外での研究・調査では、現在までに以下の事が判明しています。

- ▲ **ワクチン接種者の方がコロナに感染しやすくなり、死亡リスクも高まる。**
- ▲ **人体の免疫が攪乱され、他の感染症や病気を発症しやすくなる。**
- ▲ **スパイクタンパクの毒性により、血栓症や血管炎などを引き起こす可能性が高まる。**
- ▲ **スパイクタンパクを産生する細胞が自己の免疫に攻撃され、自己免疫疾患を発症する可能性が高まる。**



このような危険性の高いワクチンを今後追加接種する必要はありません

全国有志医師の会

